

日本で最も美しい村議会



鶴居村

# つるい 議会だより

子ども達の笑顔と未来のために



初夢は 

全国中学校スケート大会初出場 大石玲奈さん(鶴居中2年)

## 12月定例会

- 明けましておめでとうございます……………P2
- H23年度決算委員会Q & A…………… P6～P7
- 7議員が村政を問う……………P8～P14
- 委員会報告……………P16
- 管内議員研修会……………P17
- 道外行政視察報告……………P18～P21
- 読者の声 絵筆によせて……………P22

しっかり報告します



# 賀 春



松井議長

新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた新春をご家族お揃いで迎えられましたことを、  
謹んでお慶び申し上げます。

村民の皆様には、日頃から村議会に対しまして深いご理解と絶大なるご支援を賜り  
厚くお礼申し上げます。

昨年4月に村長選挙が行なわれ、新しく大石村長が誕生しました。公約された「笑  
顔と活気あふれる協働の美しい村をめざして!!」を実現させるべく、精力的に活動し  
ていることに敬意を表します。

昨年を顧りみますと、12月の衆議院議員選挙において、自民党が圧勝し、安倍内閣  
が発足しました。

野田前総理が、政権公約（マニフェスト）に掲げていなかった消費税増税に固執し  
た結果であります。

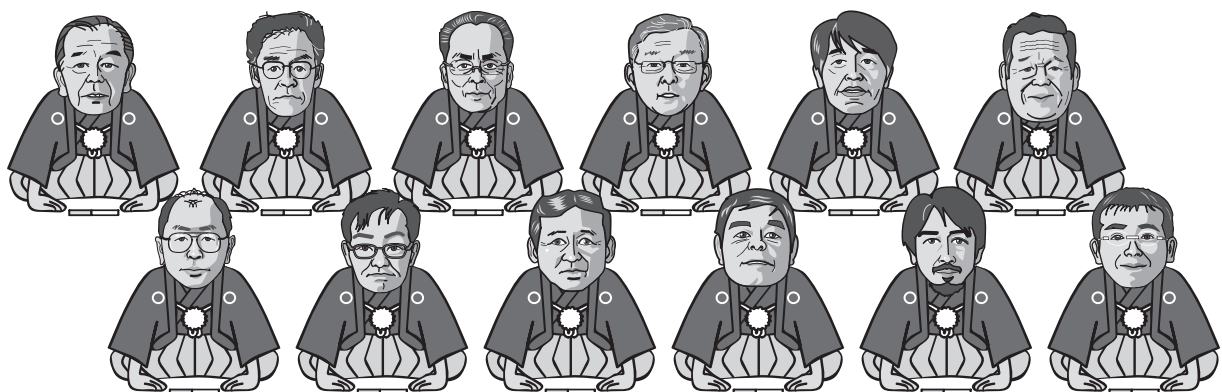
安倍総理には、自民党が政権公約しました「私たちの暮らしを脅かすTPPを断固  
阻止する!」、このことを誠実に実行していただくことを願います。

また、村政においても課題は山積みしています。

基幹産業の酪農においては、相次ぐ離農やエゾシカによる被害、商工業においても  
消費の流出による商工会会員の減少、これらを要因とした雇用環境の悪化は少子化へ  
と繋がっています。

議会としましては、地域の発展と住民福祉の向上が図られるよう、引き続き議員一  
同全身全霊を傾注し取り組んで参りますので、皆様のなお一層のご指導ご鞭撻を賜り  
ますようお願い申し上げます。

今年1年、皆様をご家族共々無病息災ご多幸でありますことをお祈りし、年頭のご  
挨拶といたします。



新年明けましておめでとうございます。



# 12月定例会

平成24年12月定例会が12月13日招集され会期を2日間とし、議長より諸般報告、村長・教育長から行政報告がなされ、7名の議員より13件の通告があり一般質問が行われました。議案審議については、10件と意見書2件が全て原案通り可決決定しました。



私より諸般報告をします。

## 1、第56回町村議会議長全国大会(11月14日東京開催)

11月14日東京で全国大会が開催され、東日本大震災からの早期復興と町村税財源の充実強化を求める決議を採択しました。12日・13日は、震災の被災状況視察のため仙台市を訪問。

## 2、管内議員研修会(11月21日・22日弟子屈町開催)

(P17参照)

管内7町村議会から75名が参加し、講師の「小高日銀釧路支店長」・「山田観光アドバイザー」・「永田北海

道経済部次長」の3名から、本村の振興に役立つ貴重なご講演をいただきました。

## 第2回釧路広域連合議会11月定例会(釧路市開催)

東議員より、「平成23年度広域連合一般会計決算の件」について承認された報告がありました。

## 第2回釧路北部消防事務組合議会臨時会(弟子屈町開催)

吉田議員より、「議長の選出については弟子屈町議会議員の館忠良氏が選出され、職員の給与に関する条例改正については原案通り可決決定された報告がありました。



9月以降の行政報告をします

## 1、公金着服に係わる不祥事について

当時主事職の男性職員が配属の農業委員会で、事務の不適切な取り扱いと公金着服の事実が発覚し懲戒免職の処分となりました。

農業新聞購読料5万2800円、農友会の運営費34万9749円の合計40万2549円(家族が弁済)を着服し私的に流用したためです。

また、農業者年金や農地転用に係わる事務でも職務怠慢による不適切な事務を

繰り返したため、厳しい処分を下しました。今回の不祥事は村政の信用を大きく失墜させ、村政を預かる立場の責任については、本定例会で明らかにいたします。

## 2、村政懇談会

10月22日から26日までの5日間、村内7箇所で開催し、多くの要望やご意見を直接聞かせていただきました。各地区からの要望については、内容を精査して文章にて伝えました。



生の声を聴きました

## 3、交通死亡事故

去る11月23日、国道274号線で乗用車とタンポカーが正面衝突し、乗用車の搭乗者が死亡・重傷者1名を出す大変痛ましい交通事故が発生しました。

村民の皆さんには、IP告知端末機を活用して冬場の交通安全の啓蒙啓発に努めるとともに、村内宿泊施設に対して、外国人観光客の冬場における交通安全パンプレットを配布しました。



外国語表記も必要か？

「教育行政報告」は、15ページに掲載しています。



# 12月定例会で決まったこと

## 条例改正

### ●特別職の職員の給与の支給に関する特別措置条例の制定

村長・副村長の給与を、2ヶ月間10%の減給とする条例の改正

### ●一般職員給与条例の改正

## 補正予算

### ●平成24年度一般会計

歳入歳出それぞれ7億39万9千円を追加し、総額45億6,685万円とする。

### ●平成24年度国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ640万円を追加し、総額3億5,393万9千円とする。

### ●平成24年度診療所特別会計

歳入歳出それぞれ75万6千円を追加し、総額8,515万6千円とする。

### ●平成24年度後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ20万2千円を減額し、総額2,807万2千円とする。

## 人権擁護委員候補者の推薦（P8参照）

### ●渡辺 巖氏・宇野健二氏を推薦しました。

## その他

### ●村有林間伐産出材の処分

処分する契約の金額 766万5千円

処分する契約の相手方 鶴居村森林組合 代表理事組合長 松井廣道

## 12月定例会 一般会計補正予算 Q & A



お年寄りの利用が増えてます

**問** 路線バスの維持費補助金で、輸送人員が前年に比べて増加しているが、その要因は？

**答** 詳しい要因は把握していませんが、お年寄りの利用が増えているようです。

**問** この補助金はバスの運行に掛かる経費から、運賃収入を引いた額の補助だと思いが、それでは事業者が経営努力しなくても補助されてしまう危険はないか？

**答** 生活交通路線補助金については、国、道の補助金が入っていて厳しい審査があります。また、事業者の経営努力により経費も減少しています。

**問** 保健師奨学金18万円とは？

**答** 保健師、看護師として将来鶴居村に3年間以上勤務する場合に奨学金を交付する制度があります。次年度1名の採用予定のための補正です。

**問** 新規就農者対策事業補助金返還金79万円の内容は？

**答** 新規就農した農家が、家庭の事情により離農されたための返還金です。

**問** スポーツ振興助成金は、スケートなど強化指定された選手の強化合宿などは対象にならないか？

**答** この制度は全道、全国大会の経費を助成するもので、それ以外は対象になりません。

**問** 運動広場支障木伐採工事67万円の補正ですが、木の販売代金は発生しない？

**答** 伐採した木の販売額をあらかじめ見込んでの工事代金となっています。

# 意見書

## ★配合飼料価格の高騰対策に関する意見書

畜産物生産に不可欠な配合飼料の価格は、平成20年の異常高騰以来高止まりで推移している。

さらに、本年米国の記録的な干ばつにより国際穀物価格は急激に高騰し、配合肥料価格も再び大幅な値上げとなっている。

よって、国においては、「補てん金の満額交付」「飼料穀物の備蓄制度」「酪農経営安定対策・基盤整備対策」の実現を図られるよう強く要望する。

## ★中小企業に対する金融対策の充実を求める意見書

リーマンショック以降、資金調達が困難な中小企業者対策として「中小企業金融円滑化法」が施行され、非常に大きな力になっていた。

しかし、平成25年3月末を持って期限が切れることから、国においては厳しい経営状況にある地域の中小企業者の資金繰りを支援するため、中小企業金融円滑化法の一定期間の延長また執行した場合の経営の維持安定を図る支援施策を強く要望する。

\*\*\*\*\*

## 議長および議員が参加した諸行事



防災マスター講習



村政懇談会



サンクチュアリ25周年



出初式



鶴小給食試食



成人式



# した予算編成の為に

平成24年11月29日に、「平成23年度一般会計・特別会計歳入歳出決算」について、決算特別委員会にて審査を行い、起立全員で可決決定しました。

## 決算特別委員会Q&A

**問** ふるさと創生基金人材育成事業補助金39万円の内容は？

**答** 23年度は商工会、森林組合、役場から各1名ずつ計3名が、鶴居村環境基本計画における環境をテーマに、京都、奈良、滋賀にて研修しています。

**問** 基金が減ってきているが、今後の見通しは？

**答** 基金は当初の1億円から半分くらいまで減少していますが、中学生派遣事業と人材育成事業ともに意義のある取組みなので、継続する方針です。

**問** 最近、全国的に注目されたところ「日本でも美しい村」連合のPR広告費は？

**答** 本村では年6回、月刊フィットに広告を掲載しています。また、札幌にてパネル展や食のフェスティバルなどにも参加しPRに努めています。

**問** 住宅用太陽光発電システム導入補助金42万円について、当初予算は105万円でしたがなぜ？

**答** 2件21万円を上限に5件105万円を計上していましたが、23年度は2件の申請でした。地元企業の育成なども考えて、本村に本社を置く建設業者での施工に限った補助になります。

北海道からの補助金制度がないことや、大きな設備投資が必要なことが下回った原因ではないかと思っております。



節電に一役

**問** 今後、住宅用に限らず自然エネルギーを積極的に推進すべきでは？

**答** 幅広い意見を聞きながら協議したい。

**問** 定住対策について現在のどのような対策を行っているのか？

**答** 鶴居村移住体験事業として鶴居東1丁目の公住を1戸、中短期滞在者をHPなどで募集し実施しています。鶴居村の良さを知ってもらいながら、定住につながるようにしていきたい。

**問** 国からの児童扶養手当などが次年度から減額になるが、その対応は？

**答** 本村では中学生までの医療費無料化や低額の保育料、母子家庭への年金などを手厚いものになっています。他と比べて手厚いものになっていますのでご理解下さい。

**問** 路線バスを維持するために補助金を出しているが、

高校通学費を軽減するため  
の更なる助成を検討しては？  
**答** 現時点では難しいと考えています。



教育の明日をつなぐ通学バス

**問** 在宅福祉除雪サービスはボランティアに近い形で行われていると思うが、今後も継続可能か？

**答** ほとんどボランティアに近い形で行われています。このサービスには様々な問題があり、社会福祉協議会とも協議していきます。

**問** 70歳以上の村民に敬老年金1万5千円と65歳以上に長寿功労金5千円を支出しているが、その何割かを村内に循環できるような商品券にしてはどうか？

**答** 前向きに検討します。70歳以上の村民に老人

# 平成25年度の充実



分別はより適切に

入浴券12回分を配布しているが、実施から30年ほど経過しています。見直しが必要では？

**答** 皆さんに理解してもらえるものになるように検討したい。

**問** 一般廃棄物最終処分場の不燃物埋立て処分地を、少しでも長くもたせたいとの話があったが、どのような状況なのか？

**答** 10月に収集車1台分の不燃物の内容を調査したところ、約75%が可燃ごみ、20%が不燃ごみ、5%が資源ごみでした。今後、分別の徹底をPRするなど、村民に理解してもらえるように努め、埋立処分場の延命に取り組みます。

**問** 鶴居村スポーツ振興助成金とは？

**答** 中学校の部活動などで、全道、全国大会への旅費宿泊費などをほぼ満額支出する村独自の制度です。

**問** 歯科診療所経営安定化補助金400万円ですが、今後の見通しは？

**答** 患者数は減少傾向にあります。診察時間の延長などの協議を進めています。

**問** 生乳生産基盤強化対策事業1800万円の効果は？

**答** この事業は22年度の猛暑や異常気象による生乳生産量の減少や受胎率の低下に対応したものです。その効果ですが、乳牛の頭数は離農などもあり減少していますが、生乳生産量は持ち直してきています。

**問** 酪楽館の体験部門の利用形態が変わり、村内と村外に区別されました。予約がいっぱいのようなのだが、村外も対象としている理由は？

**答** チーズを販売するために、より多くの方に体験してもらいチーズ文化をさらに広げるためです。

**問** 運動広場の来場者数が年々減少しているが、今後の展望は？

**答** 村内のそれぞれの観光施設を一体と考えた中で、今後、運動広場がより魅力的なものになるように検討することが必要だと考えています。

**問** 観光の核となる施設や道の駅などの計画は？

**答** それも含め、鶴居村の観光戦略を2年間くらいかけて練らなくてはいけないと考えています。

**問** たくさん牧場を利用した方の話を聞くと、大変評判が良く期待しているが、最近、職員が退職したことの影響は？

**答** たくさん牧場は職員の意識も高くとても好評で、経営面でも上向きです。新規採用の職員も情熱を持っていますので、影響は少ないと考えています。今後もさらに努力していきます。

## 第4回臨時会で決まったこと

平成24年11月29日に臨時会が召集され審議を行いました。

### 議案審議

#### ●財産の取得契約の締結

歯科診療所医療機器（診察台）購入

契約の金額 735万円

契約の相手方 D.U.S.株式会社

#### ●平成24年度一般会計補正予算（専決処分）

歳入歳出それぞれ437万円（衆議院選挙費）を追加し、総額38億6,645万1千円とする。



# 一般質問

## 村政のここが聞きたい

7人の議員が13項目の質問

質問・答弁ともに要旨要約して掲載しました

### 来年度の予算編成の大きな方向性は？

皆さんが安心して暮らせる環境の充実、そして将来を担う子供達のために！



#### 松井洋議員

今年5月に大石村長が誕生し半年が経過しました。

もうすでに、来年度の予算編成が始まっていることと思えますが、大石村長にとっては初めての予算編成となります。まだまだこれからだということとは十分承知していますが、来年度予算における大きな方向性について、村長がどう考えているのか伺います。

#### 大石村長

私は、日野浦前村政を引き継ぐにあたり、「笑顔と活気あふれる協働の美しい村づくり」

を基本的な考え方とし、総合計画や地域の要望なども踏まえながら、住民の安心した生活の確保や福祉の充実、産業振興、教育推進に努めるため、重責を実感しつつ行政運営に取り組んできました。

現時点では、新年度の地方交付税をはじめとする財源の見通しや国の施策が不透明なため、予算全体の輪郭が出来上がっていません。

予算における大きな方向性は難しい質問ですが、住民の皆さんが安心して暮らせる環境の充実、そして将来を担う子供達に自信と誇りを持ってもらえるような鶴居村につなげる予算にしていきたいと考えています。

#### 再質問

将来を担う子供達のためにという話がありました。

私も十分期待していますが、平成24年の1月から12月までの1年間に本村で生まれた子供は、わずか4名となっています。とても少なく、今後に不安を感じるのですが、村長はどう考えるのか伺います。

#### 大石村長

年度で考えると来年3月までに数名の出生が予定されていますが、少ない出生数だと認識しています。少子化は本村だけの問題ではありませんが、大変重要な問題なので、行政だけではなく、関係する広い範囲で協議し、取り組みなくてはいけないと考えています。



「少子化」 みんなで考えよう鶴居の未来

## 人権擁護委員候補者

渡辺 巖氏 (68歳)

現人権擁護委員  
任期3年  
賛成全員



宇野 健二氏 (62歳)

新規推薦  
任期3年  
賛成全員





## 未満児保育の内容は？

保護者負担が大幅に軽減！



## 武藤議員

村では平成25年4月より、国の保育ママ制度を利用して、未満児保育に取り組むとのことですが、その内容がどのようになるのか伺います。

## 大石村長

保育ママ制度を導入するための各種研修、保育室等の基準をクリアすることで、国の補助金を受けることができるので、これまで月額4万7000円であった負担が1万7800円と大幅に保護者負担が軽減されるものです。ただ、現在、受講者の認定研修が終了する

来年6月末以降の開始になることに、お詫び申し上げますとともに理解をいただきたいと思えます。

## 高齢者福祉と障がい者福祉の今後の取り組みは？

福祉の村として全力で取り組む！

高齢者福祉と障がい者福祉の今後の取り組みについて伺います。

- ①相談業務を委託しているが、各事業所における特徴的な活動は？
- ②相談業務を分散するメリットとデメリットは？
- ③利用者調整会議の開催状況は？
- ④地活センターの施設の整備は？
- ⑤高齢者の安否確認と移動手段の確保は？

## 大石村長

①医療法人養生邑は相談業務のみで、社協は選択業務で空き瓶等の回収分別作業、NPO法人生活学舎のんきは、表現広場や職業訓練等です。

- ②メリットは相談を受ける側が普段から身近にいることで相談をすぐ受けられること、デメリットはプライバシー確保に難があること。
  - ③3回目の調整会議を年度内に開催したいと考えています。
  - ④村内の公共施設を有効利用することとして新たな施設整備は考えていません。
  - ⑤災害時の対応と平常時の安否確認対応を含め、現在協議している最中であり、詳細は今後検討したい。
- 移動手段の確保については、検討事項が多岐にわたるため、具体的協議には至っていませんが、他管内の状況を含め検討したい。



## 共生型施設整備で地域主体の福祉強化を！

現在のところ考えはない

## 武藤議員

共生型拠点施設の開設は、地域主体の福祉の強化と地域力の再構築の機会となります。お互いが助け合う共生型の骨組みが、介護保険料値上げの抑制等にも繋がると考えます。

共生型施設としての活用は、高齢者や障がい者の相談に対応ができる地活センター機能、要望の高いサロン機能、子育て支援機能、さらには住民課機能を持たせることで、福祉行政のワンストップ対応が実現可能と考えますが、理事者の考えを伺います。

## 大石村長

村内各地で開催されているサロン参加者の参加意識は多様と伺っていますし、サロンは地域のコミュニティセンター等を利用して開催

することのほうは有効であり且つ可能と考えています。また、地活センターの業務については、本年度から村内の事業所に委託業務として実施していること、保育園の老朽化に伴う新設も検討中で、子育て支援機能もその中で検討したほうがより有効と考えています。現在、ほとんどの福祉に関する行政が役場内にあることを考えたとき、新たな共生型施設整備はその必要性を感じていませのでご理解をいただきたいと思います。





冬型交通事故の  
対応・対策は？

関係機関との  
連携を図る！



佐藤議員

11月23日に、茂雪裡の国道274号線で発生した、台湾からの個人観光客の雪道における複数死亡事故の発生状況について伺います。  
また、鶴居村として事故発生後どのような対応をされたのか、さらに同事故の発生後に関係機関では外国人に対しての冬道運転に関してどのような動きがあったのか伺います。

大石村長

台湾からの個人観光客家族が村内移動中に死者3名、

重軽傷者2名という重大交通事故が発生しました。



常に心に緊張感を

事故後の対応については道から「交通死亡事故多発警報」が発表され、村内IP告知端末機を活用して「冬場の交通安全運転への注意喚起」を行い、さらに村内宿泊施設にも外国人旅行者へ冬道運転への注意喚起のパンフを配布していただくようお願いいたしました。今後とも悲惨な結果につながる交通事故の撲滅のために関係機関との連携を図り対応いたします。

大規模停電事故の  
対策は？

災害応急業務協定済み  
次年度予算で検討！

佐藤議員

11月27日に北海道南西部胆振日高地方を中心とした暴風雪を契機とした、高圧線鉄塔の倒壊による長時間停電という事故が発生し、市民生活や産業にも大きな影響が出ました。  
幸い月末30日までは全て回復したとのことですが、ここであらためて本村への通電経路について伺います。

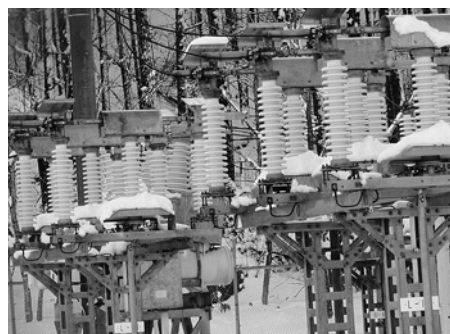
大石村長

北海道電力に確認したところ、本村では中雪裡西地区にある「鶴居変電所」へ阿寒方面から1系統が供給されています。

もし阿寒方面からの送電線に何らかのアクシデントが発生すると村全域が停電

になる可能性が高いとのこととです。

平成23年8月10日に釧路市の電気工事会社および、リース会社との間で災害応急業務に関する協定を締結していますが、現在村が所有する灯光器や発電機なども十分ではないので、次年度予算にて検討することとしています。



住民生活の命綱 大丈夫？

道道歩道部分の  
草刈りの実施は？

道に積極的要望！

佐藤議員

本村は日本で最も美しい

村連合加盟の村であり、産業景観や自然景観の美しさに来村する方も多いと感じています。

次年度に向けて、道道歩道部分の草刈り等を、作業ルートを絞り込んで北海道へ申し入れるべきと思いますが、考えを伺います。

大石村長

本件については、村政懇談会で下雪裡連合会と下久著呂地区から道道243号線の草刈り回数を増やしてほしいとの要望を受け、幌呂連合会からも要望を受けています。  
次年度に向けて北海道に對して積極的に道路美化管理を徹底していただくように要望します。

## 役場の機構改革の時期は？

10月1日から新しい課の体制をスタート！



## 秋里議員

村長の村政執行方針の中で、役場組織のあり方について適切な組織の見直しを検討したいとされています。

私は多岐にわたる事業と4つの特別会計をもって、大変ボリュームの多い住民課を中心に、組織の改革を検討する必要があるのではないかと考えます。

## 大石村長

私は役場の機構改革の参考とするため、「組織及び事

務事業の見直し」について、職員の考えを各課から提出させました。その見直しに関する考え方は20件を超えるまでとなりました。今後その意見などを参考に、理事者を含め課長などによる協議検討を進めたいと考えています。

具体的な機構改革の時期についてはですが、機構改革に伴う条例提案は、平成25年第2回定例会を予定しています。また、村民に対する周知期間が必要なことから、10月1日から新しい課の体制をスタートしたいと考えています。

詳しい内容については今後検討されるため、今は申し上げられませんが、議員がご指摘の住民課の体制については、同様の認識を持っているところです。

## 敬老年金と長寿功労金の支給方法を柔軟に？

口座振込を原則とするが現金支給も！



改革はじまる住民課



## 秋里議員

村では社会や村に貢献された高齢者の皆様に対して、その長寿を祝するとともに、多年の労をねぎらうなどの目的で、敬老年金と長寿功労金が支給されています。

この支給方法を平成25年度より、各自への口座振込に統一する旨の通知がありました。

この通知をめぐって一部対象者より「振込は困る」という懸念の声があります。

高齢者個々には、それぞれの事情があります。

そこで支給方法について、原則振込として、柔軟性を加味することはできないのか伺います。

## 大石村長

ご指摘の支給方法の見直しは、事故防止のため実施するものです。過去に敬老年金を手渡しし、受領印をいただいたにも係わらず、支給を受けていないと勘違いしたケースなどがあった

ことから見直しを検討したものです。しかし、それぞれの事情を勘案し、原則は口座振込とし、希望者には従来どおりの現金支給も継続したいと思えます。

ただし、一部村内商品券による支給も検討していることと、現行の敬老年金支給条例の一部改正を検討したいと考えていることも報告いたします。

## 高齢者に対する支給金

支給金名	基準日	支給年齢	支給額
敬老年金	9月15日	70歳以上	15,000円
長寿功労金	9月1日	65歳以上	5,000円



管内8市町村防災基本協定への対応は？

年次的に予算措置を講じる！



及川議員

釧路管内8市町村は、大規模災害発生時に相互が協力し合う、防災基本協定を9月に締結しました。

協定は平常時における情報共有、防災訓練や研修会の共同実施のほか、災害時における人的応援、資器材、避難所等の提供などが盛り込まれていますが、まだ具体的な内容が明らかになっていません。何らかの進展が予定されているのか伺います。

また、鶴居村としての防災対策と広域防災協定との

整合性をどのように考慮しているのか伺います。

大石村長

釧路総合振興局が事務局となり釧路管内における関係機関相互の連携を図ることにより、東日本大震災の教訓を踏まえた地震・津波災害に強いまちづくりを推進するため「釧路管内地震・津波防災対策連携会議」が設置されました。

10月19日に第1回目の担当者会議が開催されましたが、その議事内容は、津波防災についての情報交換が議題となりました。また、これ以後の会議の開催については、未定です。

今後の防災対策については現在、災害用備蓄品を年次的に整備してきてはいま



握手より強いつながり

すが、種類や数量において十分なものであるとは言えない状況にあります。現在各市町村の整備状況を調査中であり、その整備状況を参考にしながら、村民への安心の提供と釧路管内8市町村防災基本協定の相互応援に鶴居村として応えられるよう年次的に予算措置を講じていきたい。

いじめ対策予算への対応は？

実施可能な方策を最大限有効に活用！

及川議員

文部科学省は概算要求の目玉として、「いじめ問題に対する総合的な取組の推進」に約73億円計上しています。まだ概算要求の段階とはいえ、来年度に向けた鶴居村の対応を伺います。

大石村長

いじめは決して許されないことであり、その兆候をいち早く把握し、迅速に対応することが必要です。文部科学省は、学校や教育委員会などに対し、いじめの問題への取組の徹底を要請してきましたが、痛ましい

事案がなお発生しています。次代の我が国を担う子どももの育成を図っていく上で、その生命・身体を守ること

は極めて重要であり、これまで以上に社会全体が一丸となって、いじめの問題に取り組んでいくことが必要です。

教育委員会としては、国で実施する事業や施策について、道教委・釧路教育局を通じ最新の情報を入手し、村として実施可能な方策には、最大限有効に活用し、健全なる児童生徒の育成に寄与していきたいと考えています。

いじめの定義

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

## 防災・防火対策の取り組みは？

村の役割を認識し、安全・安心を最優先に防災対策を進める！



### 吉田議員

「消防・救急・防災は最も重要な行政分野であり災害に強い村へなすべし。」と村政執行方針にあります。どのような取り組みをするのか。

また、現在の消防団体制は再構築も検討していると聞きます。下幌呂は夢の杜団地などの造成により戸数・人口も増加していますがその対応を伺います。

また、釧路北部消防事務組合の弟子屈・標茶の消防団では、女性消防団員が活躍しています。村としても検討すべきではないでしょうか。

日中、女性が留守番をする家庭が多いと思いますが、女性・子供の防災・防火クラブ等も検討してはいかがでしょうか。

以上、村民の安全・安心について村長の考えを伺います。

### 大石村長

消防施設等の整備・火災防衛体制の充実・備蓄用品の整備・村内交通網の整備など村全体の事業と総合的に取り組むことが災害に強い村づくりにつながると考えています。

現在の消防団体制が4分団体制の組織となつて40年を経過しています。

この間離農などによる地域の人口減少や下幌呂夢の杜団地の造成による人口増加など各分団管轄の人口動態が著しく変化しています。



わたしも消防隊員

消防団体制の再構築を消防団・消防署等の関係機関と協議し検討していきたい。

女性消防団員については総務省消防庁より団員数の一割の任用促進目標が示されていて、火災予防・応急手当・地域交流など近隣市町でも女性団員の任用が増えている状況であります。

村としても再構築と併せて検討したい。

防災・防火クラブは組織化に検討が必要であり少々時間をいただきたい。

村民の安全・安心を最優先に考え鶴居村の役割を認識し今後の防災対策をしっかり進めていきたい。

## 幼少年女性防火クラブ実態調査 (平成24年4月1日現在)

	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		女性防火クラブ	
	クラブ数	クラブ会員	クラブ数	クラブ会員	クラブ数	クラブ会員
弟子屈町	1	89			1	16
標茶町			1	15	1	32
合計	1	89	1	15	2	48



年に一度の消防体験と月に一度の避難訓練で、幼年期から防災意識の醸成につとめる「こぐまクラブ」



家庭から火災は出しません  
釧路管内女性消防団員



### 商工観光課の設置を！

増設は難しいが、観光戦略の中で検討します。



#### 大津議員

平成14年3月定例会において、商工観光課を廃止致しました。

理由は国が進める行財政改革に伴う地方交付税の見直しにより、行政改革の一環として職員の削減と併せて実施されました。

分掌換えを行い、活性化を図ったほうが現状においては商工観光振興に繋がるかの判断だったと思います。現在は、10年前には想像が出来ないほど、官民一体になった努力で、特に観光振興は図られ、更なる発展

が期待されておりますが、反面、長年の公共事業の削減や、都市部への消費流失の影響で商業者数も減少傾向であります。

課を再度設置することは、本来の機構改革とは逆行すると思われるが、観光産業と各種産業とが連携をとり、知恵を出し合っこそ、バランスの良いまちづくりが出来るものと思っております。

#### 大石村長

村長の考えを伺います。

昭和62年4月1日に新たに職員2名体制で設置された商工観光課は、平成14年4月1日機構改革により観光係は振興課、商工係は産業課となりました。

さらに、平成19年には現

在の産業課商工観光係となったところでは、

このような変遷をたどった経過は、三位一体改革による影響で、自治体の行政経費の削減が課題となっており、その一環として課の統廃合を行いました。

現在検討を進めている機構改革については、単独の課の増設は難しいと考えています。

村の商工業の振興は観光産業と連動することが重要であると考えていますので、観光振興戦略の中で、十分検討します。



新しい産業の創出を

## 議会だよりに対するご意見・ご要望をお寄せください!!

次回定例会は、3月8日(金)~14日(木)の予定です。  
(予算特別委員会も開催します)

議会事務局

TEL (0154) 64-2116

メールアドレス turuimura21@yahoo.co.jp



**私より平成24年度全国学力テストの報告をします。**

平成24年度の全国学力・学習状況調査に、小学校3校の6年生24名と中学校2校の3年生24名が参加した結果報告をします。

小学校（国語・算数・理科）については、国語の知識問題は高得点ですが活用問題は10教科中、唯一、全国平均を100点満点中0.1下回っています。また、算数の知識・活用問題と理科は、全国平均を超える好成績となっています。

中学校については、国語・数学ともに全国・全道平均を大きく上回り、特に両学科ともに活用問題が全国・全道との差が広がっています。理科についても全国・全道平均を超えています。

小学校の活用に関する問題は、知識・技能などを実生活の様々な場面に活用する力などに関する内容であり、「生きる力」をはぐくむ上で、学力として求められる能力ですので、緊急の課題として取り組んでいます。

中学校の結果では、小学校での習得すべき知識や技能を確実に身につけていて、中学校3年間の積み重ねの成果が好成績となってあらわれています。

今後も、「学力調査・学習状況調査」の分析を進め、学力の向上のため力を注いでいきます。

**釧路管内と全道・全国の平均正答率**

(秋田県は全国一です)

	小 学 校					中 学 校				
	国 語		算 数		理 科	国 語		数 学		理 科
	知 識	活 用	知 識	活 用	知 識	知 識	活 用	知 識	活 用	知 識
釧路管内	76.4	50.7	68.8	53.2	58.5	73.1	62.5	57.9	43.7	48.3
全道平均	77.4	51.1	68.7	54.3	58.6	74.0	63.7	60.0	46.9	50.3
全国平均	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9	75.1	63.3	62.1	49.3	51.0
秋 田 県	86.9	63.0	79.5	64.0	68.4	79.7	70.3	67.4	56.7	56.1



鶴居の生徒は、

史哉 まかせたぞ



文武両道 何事にも全力

森 兄弟(幌呂中3年)

拓哉 まかせろゴール

所属 釧路西部アイスホッケー部 平成24年度NHK杯優勝





# 議員活動の充実は

## 釧路管内議員研修会



永田 吉則氏

地域振興になぜ、観光が必要か？  
観光客がお金を落とし、そのお金が地域循環してこそ 一次産業への還元が行われる。

11月21～22日の2日間にわたって釧路町村議会議員研修会が弟子屈町にて開催されました。

研修内容は日本銀行釧路支店長の小高新吾氏、観光アドバイザーの山田桂一郎氏、北海道経済部次長永田吉則氏の3氏より講演を受け研修しました。

最初は小高新吾氏『最近の金融経済情勢について』で、世界経済は中国の影響力が大きくなり、逆に日本は輸出競争力が落ちていて、高度成長期から安定成長期への移行期である。そのなかで個人所得が伸びず、個人消費が伸びているのは、無理している状況と分析しました。

また、消費税率引き上げが経済に与える影響は、震災後の消費者心理の変化と高齢化と財政収支が大きな影響を与えるとし、今後の道東の景気展望は今冬の電力不安、世界経済の減衰、天候などの自然要因などの不確定要素を含んでいるとしました。

続いて山田桂一郎氏『地域振興になぜ、観光が必要か？』で、「観光だけではダメであり、観光客がお金を落とさなければならぬ。



小高 新吾氏



山田桂一郎氏

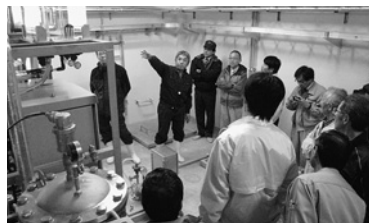
そしてそのお金が地域循環してこそ一次産業などへの還元が行われる。そのため観光には必然性が必要であり、そのビジネスモデル(成果を出す)を示すことが重要との話がありました。

2日目は永田吉則氏『北海道の地域活性化のために』で、北海道の現状は、1次産業が主であり完成品製造業が少なく輸入の方が多いという日本全体の傾向と違う特徴があり、そうした中で観光資源・魅力は各種のアンケートで日本一という結果が出ているとしましたが、サービスに課題があるとし、地域コミュニティの形成により固定客をつかむ各地の参考事例を紹介しました。

また地域の未来は、移住者の意見を尊重することや、首長などの情熱、サポートする公務員の役割が重要であるとしました。また現在道では「食クラスター」提案プロジェクトを推進中であり積極的な活用を要望しました。

## 平成24年主要施設調査視察 着々と進む住環境整備

水改修工事・中幌呂市街道路照明改修工事・下幌呂夢の杜第3期分譲地整備状況・林道宮島線沿線公衆トイレ建築工事・林業専用道中雪裡南1号線開設工事・村有住宅および公営住建築工事・プロ



おいしい水を届けます

平成24年11月12日に主要施設調査視察が行われ、平成24年度に施工された次の10事業について、村理事者と共に視察し、現地で役割担当職員から事業状況の説明を受けました。

上幌呂浄水場の過装置及び屋上防



衛生管理は万全です

ムナード歩道整備工事・鶴居小学校仮校舎および給食施設建築工事・林業専用道開設工事(平成25年度完了)と鶴居小学校仮校舎および給食施設建築工事(12月中旬に完了)は事業継続中でしたが、その他事業については無事完了していました。

下幌呂夢の杜第3期分譲地は、16区画のうち8区画が販売済みで、5区画で住宅の建築が進むなど、事業状況は順調でした。

上幌呂浄水場のろ過装置、中幌呂市街道路照明のLED化は既に使用されていて、快適な住環境に改善されました。



木のぬくもり（紫波中央小学校）

## 先進地に学ぶ

10月29日～11月2日（4泊5日）の日程で岩手県紫波町（しわちよう）での「循環型のまちづくり」再生エネルギー視察と議会改革についての調査・研修、そして新潟県長岡市の日本一災害に強い町づくりと子育て支援事業について研修してきました。

また、11月1日は佐渡金山と朱鷺保護センターの視察を行いました。

## 岩手県紫波町 議会改革は進んでいた。

10月30日 紫波町 議会会議室にて、「議会改革について」鷹木嘉孝議員と箱崎茂巳事務局長から説明を頂きました。

平成19年から議会のあり方検討委員会を設置して「通年議会の導入」・「会議録をホームページで公表」・「一般質問のネット配信」などを先行し、現在、平成25年12月を目標に、議会基本条例の制定に向けて取り組んでいます。

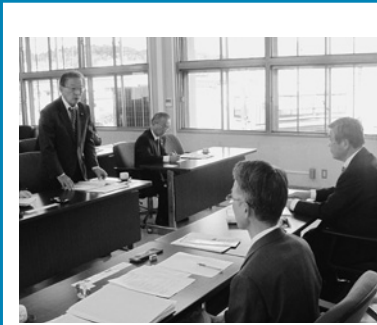
また、「議会たより」は全国コンテストで、常に入賞していて、この点についても非常に勉強になりました。

# 道外行政視察報告



熱く語る鷹木議員

- 議会活性化の取り組み
- 各審議会から議員の引き上げ
- 一問一答制
- 反問権の許可
- 自由討議の導入
- 通年議会の導入
- 開かれた議会の取り組み
- 議会報告会の開催
- 議会単独のホームページ
- 会議録をホームページで公表
- 議会中継
- 一般質問のネット配信



開かれた議会のために

**Q&A**

**Q** 議会報告会を開催するにあたり議員間の賛否を調整したのか？

**A** 開催に反対という声は表立っては無かった。あり方検討委員会で検討し、やらなければ住民の理解は得られない。むしろ「議会は何をやっているんだ！」との指摘を受けかねない。議会が町民の前に出て意見交換する場が大事との声が出た。

**Q** 報告会では住民の意見は多く出たか？

**A** 今まで300ほどの意見が出た。やってみると普段話さない人が話したり成果があった。

議会報告会は100箇所以上を4年間で細かく回ろうと決めたので、参加者は3～20名と様々ですが、回数が多いので多様な意見が出ます。

**Q** 4班編成となっているがその基準は？

**A** 基本的には議席順に分けている。その上で、各班に各常任委員会の委員が含まれるように調整し、7名のあり方検討委員会の委員も1名以上配置と調整しました。

また自分の出身地には行かないという原則があります。

# 再生エネルギーを利用した 循環型の町づくり

## 岩手県紫波町 再生エネルギー事業

紫波町ですが、もともと地元にあった温泉（38度の冷泉）の過熱のために大量の重油を使用していたのですが、地域エネルギーの活用として平成23年に3つの再生エネルギー①排水熱利用ヒートポンプ②太陽熱温水器③太陽光発電設備を導入したそうです。これは一般家庭576軒分のお湯と192klの重油削減となったそうです。さらに太陽熱温水システムでは30軒分のお湯と10klの重油削減になり、さらにソーラーでは家庭13軒分の電力供給ができるそうです。

さらに地元産材を使用した公共建築物や、一般住宅向けに地元材を使用するとエコポイント制による商品券がもらえる制度もあり、地元消費の活性化も図っているそうです。

紫波町での、このような取り組みは本村でも大いに参考になると考えますし、温泉、家畜糞尿、公共施設のソーラーも応用可能と考えられます。

### Q&A

**Q 循環型まちづくりの、そもそものきっかけは？**

A 町長が「環境と福祉の町をスローガンに就任したことが1番の要因で、町長主導の政策です。

また山林を守ろうという機運にもマッチしていた。

**Q 住民参加型の施策だが実際の参加者数は？**

A 200名程度のリーダーが各地区に散らばって中核として活動している。

**Q 町民への還元は？**

A 採算面では年ごとに違うが、雇用機会の創出や環境保全という観点で還元できていると考えている。

**Q 移動式チップパーの導入予定は？**

A 導入したが能力・稼働時間等の理由で補助事業対象にならなかった。

ペレットの熱量・価格を重油と比較すれば割高なので、チップ原料を検討中。



排水熱利用ヒートポンプ

**Q エコポイントへの年間予算額は？**

A 1500万程を町単独で支出している。

一般的には補助金という形で支援するが、当町はエコポイントを商品券（最高6万円）に還元して支給している。以前は半分補助金だったが商品券に改めた。

**Q エコクーポン券認定店の条件は？また配布対象は？**

A 18項目中5項目を達成した場合認定し、指定事業に関するもののみ配布している。



太陽熱温水器

**Q 日照率は？**

A 特別高いわけではない。H15年より太陽光発電への補助を開始した。普及率は現在5%を超えているが、一定の成果をあげたとして本年度で事業を終了した。

**Q ペレットストーブの普及は？また補助条件は？**

A 販売数は横這いであるが薪もOKとなったので今後に期待。条件は5万円以上で保証期間がついたもの。



# 自助・共助・公助・近所の 防災意識の高さ

## 新潟県長岡市 防災体制の強化



指令台に並ぶ各種モニター画面

次は長岡市の取り組みですが、現在の長岡市は平成の大合併で2市8町1村の新長岡市を形成しています。人口29万人で、平成16年7月の集中豪雨につづいて、同年10月23日に発生したマグニチュード6.8最大震度7の震災を契機として、日本でもっとも災害に強い「町づくり」に着手したそうです。震災当時に仮設住宅を設置していた跡地を防災シビックコア地区とし、市民防災センターや市消防本部そして防災公園として整備しています。

## 新潟県長岡市 保育士のいる子育て支援センター

もう1つの長岡市の特徴として、「子育て支援センター」に保育士資格者を配置し、利用できるようになっていました。これは雪国ならではの発想で、冬季間の屋外遊びができない未満児の保育施設として1日500人もの利用者がいるそうです。子育ての悩みや相談なども活発に対応し、大変良い施設だと感じました。さらに防災センター内にも同施設があり、子供達が元気に遊んでいました。

本村での応用についてですが、鶴居村は自然災害のダメージが比較的少ない地域ですが、自助、共助、公助そして近所の絆が強い地域なので、これから大きな



進む新たな子育て支援

施設をつくることはないと考えますが、子育て支援センターについては子供の数の事もあるので、村独自のいつでも親子で使える施設は必要だと感じました。

### Q&A

**Q** 補助金を上手に使っていますが、何か特別の部署でもあるのでしょうか？

**A** 特にはないが、役所一丸となつて取り組んでいる。たまたま合併特例債があったことも理由にある。

**Q** 保育園の入学以前の子育て支援は？

**A** 子育て支援センターを保育園に併設し、ファミリーサポート制度もある。

また、ちびっこ広場は平成14年からデパートの一角でスタートしている。

**Q** 教育委員会に子育て支援を移行したが、国の認可制度に対して難しい対応が迫られたのではないかと？

**A** 国の制度自体は変わっていないので、厚労省・文科省の両省の仕事に対応している。市長部局から補助出向という制度があり、教育委員会の職員が市長部局の仕事をやるといふように使い分けている。

**Q** このような子育て支援策によって出生率の変化はありましたか？

**A** 若干上昇したが、正確な分析をしているわけではないので断定できない。



子育て支援センター「てくてく」

Q この施設の平日利用は主に未満児および放課後の利用になるのですか？

A 主に午前中は未満児、夕方には保育園を終えた子ども達が利用する。

Q 保育料が無料なのですが、運営費は？

A 運営費は3900万円ですが、うち3000万円は人件費です。そして職員全員が保育士なので事業自体すべて対応できる体制にある。まだ運営して3年程なので維持費が殆どかかっていない面もある。

# 時(朱鷺)は金(金山)なり 視 察 編

## 新潟県佐渡市 史跡佐渡金山



金山坑内

江戸時代初期にかけて最盛期には金が年間400kg、銀が40トン以上採掘される金山であり、江戸幕府による金銀の材料を供給する重要な鉱山でした。

現在は金の値段と労働賃金がつりあわなく採算が取れないため、採掘を中止して観光施設となっています。坑道の約300mが観光ルートとして公開されています。

史跡めぐりをして思うのは、その時代の知恵と工夫がなされています。

## 佐渡市 朱鷺 保護センター

トキの森公園における保護センターの視察と自然放鳥されたトキの生態を観察しました。

佐渡《日本》のトキは、1981年にキンが死んで日本産トキは絶滅しました。その後、1998年中国から贈られて自然復帰作業が始まりました。

現在は放鳥と飼育で182羽に増えていて、確実に保護活動の成果が現れています。

今回、偶然にもバスの車窓から収穫後の水田の中に数羽のトキを目撃し、飛行シーンでは羽の内側の鮮やかな朱色をはっきり見ることが出来て感激をしました。

地元の方もこのような光景に出会うことは珍しいとのことでした。鶴居村のタンチョウと同じく、地域でしっかりと保護活動が行われていて、一步一步着実に成果があらわれ、このような光景を見ることが出来るようになりました。



よみがえる トキ

後日談  
しげ模様なので1便早く乗船したところ、次の便から2日間欠航になりました。また副村長が船に弱いとは知りませんでした。



つるい議会だより

平成25年1月29日発行 136号

発行 北海道鶴居村議会  
編集 広報調査特別委員会

085・1203 鶴居村鶴居西1・1  
0154・64・2116

## 村議会の動き

- 11月6日 広報委員会  
12日 主要施設調査視察  
21日～22日 管内議員研修会  
26日 広報委員会・  
釧路広域連合定例会  
29日 臨時会・決算委員会  
30日 釧路北部消防臨時会  
12月6日 議会運営委員会  
13日～14日 12月定例会  
21日 広報委員会  
26日 釧路公立大学定例会  
平成25年  
1月5日 出初式・広報委員会  
11日 広報委員会  
給食試食会  
16日 広報委員会  
21日 広報委員会

### 広報調査特別委員会

委員長	大津 泰則
副委員長	佐藤 吉人
委員	及川 満浩
委員	松井 洋和

### お詫びと訂正

前回の6ページ「補正予算  
Q&Aの婚活事業費」  
誤 8万2千円 正 82万円  
お詫びして訂正します。

## 読者の声

### 絵筆によせて

渡辺 巖



平成22年5月17日の道新で、油彩サークル・北彩の会が25年という活動で初のグループ展を開くという記事を目にした。

初心者への入会も可能というので、入会申し込みをして行ってみたら教室の多くの方が釧美展の会員であり、釧美展や道展などの公募展に入選をしているベテランの人達であった。

元来私は、公募展など無縁の人間であったが先生の激もあり、平成23年に釧美展に初出展し初入選、平成24年には釧美展入選、そして立派な賞を受賞し自分でも驚いています。

さて、この油彩を道展に出展するかどうか迷っていましたが、妻はこの部分は変だ、ここはもっと強調したほうが良い等と指摘しながらも道展に出展するよう肩を押してくれたので、妻の指摘に沿ったかはどうか分からないが、絵を描き直して出展しました。

札幌の審査会場から、入選結果を知らせる連絡をもらったときはさすがに嬉しかった。

68歳にして初出展・初入選だったからだ。

道展の授賞式に出席し、初入選の人達が壇上に上がってびっくり、50歳は離れていると思われる若者が多い事、白髪頭の方は2・3人程度で自分の年齢をつくづく意識させられました。

油彩では、道展の公募した約半分が入選します。

絵の上手な人は沢山いる、けれど上手だけでは道展に入選できないのだと教室の仲間が言う。

公募展などに向く人と個展に向く人がいると思いますが、自分の向かう方向はどっちの道なのか考えてまいります。

キャンパスに向かい様々なことを迷いながらも、ほんの少しでも前に進めればそれでよし、とするしかないのだと今は筆を握っています。

宮島岬



画 渡辺 巖